

桑名市ブランド推進委員会 会議概要（抜粋）

日時・場所	<p>令和3年6月7日(月) 14:30～16:30 桑名市役所3階第2会議室（桑名市中央町2丁目37番地）</p>
出席者	<p>委員： 9名 ブランド協議会：1名 市長： 1名 その他市役所：4名 事務局： 5名</p>
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 市長あいさつ 3 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 桑名ほんぱく2020について (2) ホームページのリニューアルについて (3) 住吉地区及び七里の渡し周辺のまちづくり推進事業について <ol style="list-style-type: none"> ①ストーリーブックについて ②AR桑名城について ③その他の活動について (4) 国営七里の渡し公園三之丸地区の整備について (5) 都市再生推進法人について 4 その他 5 閉会
概要 (主な意見)	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 市長あいさつ 3 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 桑名ほんぱく2020について <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の中で今年はプログラムが増えたことはいいこと。運営の仕方としてオンライン、VRといった工夫はあるのか。 ⇒昨年は2プログラムがリモートでやっていただきました。今年はまだ確定していませんが、リモートでという声が挙がっております。運営に関してはブランド協議会とともに昨年からやってきており、運営の移行を進めていきたいと考えています。 ・オンラインが増えれば、いろいろな人に参加してもらえる。東京に行った桑名の人が、参加するとかがあると充実するのでは。運営のことについては、公が起こしたことを民間の活力を得て町に根差していく非常に良い例だと思う。協議会に運営が移ったとしても、今後は、1年通しての開催になればいいなとも思う。 ・とてもいい取り組みだと思う。コロナの中でも開催できたということで良かったです。リピーターの方も多いということで、関係人口の創出につながる。ほんぱくに関わっている人たちがチームになっている。コロナの影響で、飲食店など大変な方も多いため、関係を深めることで、危機を活かせるようにして行ってほしい。クラウドファンディングなども取り入れるなどして、いろいろな人を巻き込んでいく。そし

て、みんなを元気にして行ってほしい。

(2) ホームページのリニューアルについて

- ・すごく見やすくなった。アイコンに関しては、「子育て」の絵は女性だけが子どもを抱えていることや、「一般」は夫婦だけが映っているのは少し違和感をおぼえる。「一般」という表現を変えるなり、イラストに単身者も入れるなり。「子育て」の絵は赤ちゃんだけでいいのではと感じた。観光の方はビジュアルもよくて、良くなった。
- ・英訳についてはグーグル翻訳を使うようだが、ちゃんとした翻訳の方がいい。特に観光ウェブサイトは10年前まではグーグル翻訳は普通だった。ここ3～4年で、グーグル翻訳ではなく翻訳家や専門のライターを使う所が出てきている。インバウンドが来ないと思っているのかもしれないが、インバウンドだけでなく、国内にいる、桑名に住んでいる外国人のために英語のページはほしい。コロナでなかなか人が来ないかもしれないが、今こそ整備ができるチャンス。
⇒申請等、外国人の方がよく閲覧するページに関しては「やさしい日本語」を用いたページを作ることになっている。緊急の災害情報は、どういった情報が必要か、何言語必要かなど精査をし、予算にはまる形で進めたい。
- ・率直に、観光サイトは見やすくなっている。あとは、サイトを見てもらうために、どうやってこのサイトに誘導するかが大事です。紙の広告よりSNSの方が興味、関心のある方へ情報が行き届きやすいので、デジタル広告を活用して、このサイトに誘導するといったことも必要かと思えます。

(3) 住吉地区及び七里の渡し周辺のまちづくり推進事業について

①ストーリーブックについて

②AR桑名城について

- ・ストーリーブックはいいアイデアだと思う。これは誰向けのものか？市民の皆様か、観光客か。
⇒観光客を受け入れるお店の人向けに制作しました。
- ・印刷物にするとコストや資源がかかるので、観光ウェブサイトなどWEBにのせた方がいい。アップデートもしやすい。外国人に向けても紙よりスマホやタブレットで見れた方がいいのではないか。CGはバジェット（経費）の問題、音声ガイドは入っているのか？
⇒音声ガイドは今のところ想定していない。
- ・ARを使って無い天守閣が見られるのはいいが、歴史・文化といった桑名の特色のプラスアルファがほしい。CGだけではSNSに挙がった写真で満足されてしまうことが心配。外国人でも日本人でも「桑名に行きなきゃなきゃ」「アプリをダウンロードしなきゃ」と思わせる、動機付けするプラスアルファが欲しい。プラスアルファのメリットがほしい。
- ・デジタルの活用はいい動きだと思っています。その先として、人材育成についてお話した。今回、住吉地区にエリアをしばって歴史資源を活用していて、今後は歴史文化基本構想に動き出してもいいのではないか。国の補助がついて、人材育成も盛り込まれている。街の人たちが歴史を語れるか、という項目もある。長いレンジでの人材育成が、行政の役割。子どもたちが育っていく中で、まちの資源を伝えることでシビックプライドが醸成される。住み良いまちにつながる。5年～10年かけた構想を考えてほしい。
ギガスクール構想やICTを使う流れがある。アートや人文・社会・工

業・科学を活かした教育を、ARなどを活用して教育の現場に使って行ってほしい。子どもの認識が親の認識の変化につながる。そこにも活用してほしい。

(4) 国営七里の渡し公園三之丸地区の整備について

- ・これまでブランド推進委員会の中で、住吉地区のまちづくりについて議論してきましたが、それを具現化する機会がようやく出てきて、国交省に提案したところです。博物館と石取会館を移転、集約して賑わいを生む場所にしていきたいと考えています。
- ・協議会としてこのエリアで活動してきている中で、まちの活性化にも大事な場所。理想的な方向性を提案させて頂いた。七里の渡しのすぐそばで、地域の人が誇れる場所であり、地域の人に喜ばれる施設になればいい。
- ・桑名のような地方都市に行くと、市や県や国がつくった施設が並んでいることがある。そうでなくて、一緒にまとまっていた方が観光客にとってはわかりやすくいいのではないか。
- ・まず、協議会からこういった提案をしていただいたことに感謝している。委員会でも出ていた話が具現化してきたと受け止めている。市にとっても重要な場所であり、提案を受け止めて内部でも検討していきたい。
- ・国交省と桑名市、そしてブランド協議会が入って一緒に具体化していけたらと思っています。

(5) 都市再生推進法人について

- ・ブランド協議会としては、これから指定法人になる方向ということでもろしいか。
⇒この3年は地方創生交付金に基づいて活動してきた。その先に向けて法人化は設営当初からの目標であり、都市再生推進法人は理想的な形であり、準備を進めていきたい。
- ・より積極的に公共空間を利用していく、いろいろなまちづくりを担っていくことができるわけで、マスタープランを具体化していくことがやりやすくなっていくのではないのでしょうか。

4. その他

- ・アイデアだけですが、ほんもの博物館の「ほんもの」は、漢字すると「本物」。本多家の旗指物(幟)には「本」という漢字を使っていたという共通点を利用して旗指物(幟)を博物館のプロモーション(博物館の前にデコレーションするなど)に活用すると良いのではないか。

5. 閉会